

平新報

發行日 五月廿五日發行 每份三回 五ノ日發行  
編輯 野邊庄吉  
發行所 平新報社  
廣告料 一圓五十錢  
印刷所 印刷部  
送付 定額五圓



室直與翁

米壽の祝を迎ひて 謝恩と表彰さるゝ 室直與翁の略歴

十月下旬磐城剣道會より米壽の祝を兼ねて謝恩と表彰さるゝ磐城の劍聖室直與翁の略歴と最近の自讃、述懐を紹介する。

然レニ全寺ニ墓地ナクナカニ 安寺ニ墓地アルハ大ニ疑問ノ存スル所ナルヲ以テ 其確實ヲ得ルニカ爲メ之レヲ 調査ヲ爲スニ死後妻女 カ具足權ニ死休ヲ收メテ 安寺住職ニ依頼シ密カニ 埋葬セリト之レ亦口碑ニ 傳ハレリ因テ改葬許可ヲ 受ケ墓地ヲ發掘シタルニ 果シテ遺骨並ニ金物短刀 等ヲ發見セリ依之澤村公ノ 墓トナルコトヲ確證シ 得タルヲ以テ更ニ(墓碑 碣文ヲ記シ)ヲ建立シ江 前下關係部落民ト協議シ 當路者ノ協賛ニヨリ江前 行スル事ト爲シタリ

略歴 室直與 弘化四年十月十五日家塾教授開闢ノ上培根塾ヲ開キ生徒教授ス警前縣 一全八年十二月小學師範學校卒業 福島縣師範學校 一全八年十二月小學師範學校科卒業 福島縣師範學校 一全十年十二月二十四日平窪小學校二等授業生申付ル 一全十三年十一月一月辭職 福島縣 一全十三年十二月一日福島縣樺葉標葉郡書記拜命 一全十五年七月五日願ニ依リ本官ヲ免セラル 一奉職中満年賜金五圓下賜セラル 一明治十六年十二月五日警城郡三番小學區學務委員命セラル

一全三十二年四月福島縣警城中學校劍道教師ニ賜託ス(勤続十二ケ年) 警城小學校長 一明治三十七年五月大日本武徳大會ニ出席(京都) 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル 一全三十二年三月願ニ依リ本官ヲ免セラル

平安會に對し 聲明!

去月三十一日(舊七月十日)所を、風坂に至つては心一日)良善寺に舉行された外でなぬ。母ヲして居成辰後後援を懸念祭席上で、風坂に隱居の生活を現配られた「平安會名簿」が、僕は平町役場月籍係へ八月現在の「平安會名簿」の通り平町町二八(三)が載せてあつたがこれは實四と覺えて「(紀念)とに不審である、僕は未だ平云云料理店をやつて居安會と云ふものから只の一妻名儀であるが世帯主は僕も加入の勸誘を受けてゐた、そして限りなき友情! ない、曾て平安會の會則を否深同情ある平新報社主きかされた事はないが、開山野邊庄吉氏によつて一日平藩臣にして没落した舊藩者で、如前所述の名簿を主信篤後援後に舊藩臣の配付される事に僕は迷惑を親睦の會合と云ふ、僕は、僕は舊藩臣ではない、折へ懸念を余儀なくされ(であらう舊藩の人々から數之ヲ表彰ス)た當時既に不良年前迄は舊藩の通知をうけた事な大日本武徳會福島支部長 稱する人々から疎外されて、三年來通知があつて徳會大會ニ出席(京都)あなが今今日突も出席し得るや否や且つ一昭和三十二年十月御大禮奉祝に「名簿」に記載され現回の出席なき者の會員名簿

演武大會ニ出席(京都) 一全三十二年十月十日

山野邊庄吉殿 侍史 電話五〇七番 平町紺屋町 藤沼醫院 内科小兒科皮膚科

音信交換 謹而申中御見舞申上候 近年稀なる嚴暑の折柄益々 御清康に被為御事幸甚 大使命に御精進の段慶賀の 至りに奉存候、降而遷生も 以御蔭不相變頑健連日の苦 難を征服し、表記に通勤 罷在候間乍他事御放棄被下

警中同窓會

警中同窓會は例年の通り八月十日午後一時より母校に於て開催出席者左の如く校長小椋山久作、教頭齋藤榮一、評議員山崎宣吉、新田目春松、山名隆貞、三森虎雄、山崎忠兵衛、山野邊庄吉、午後七時より谷口に於ける出席者左の如く、關内正一、諸橋久太郎、山崎宣吉、齋藤榮一、松井深小椋山久作、山崎忠兵衛、新田目春松、上田耕作、諸橋鐵彌、楠田忠義、箱崎清一、山名隆貞、松本忠人、松本榮一、山野邊庄吉、尚ほ今期會計報告左の如し警城中學校同窓會々々計報告自昭和七年八月十一日

鹿島村 戸數割賦課 異議申立

石城郡鹿島村には去る六月二十八日を以て村税特選の戸數割賦課は満場一致も無い奴から日頃の御交誼を以て委員會修正通り可決に甘へてなるとやってくる々々定したが大字上矢田部落はあきれ、それも、これの佐原忠太郎三勇兩氏もかわい子故のためと思へり過當の賦課なりとして異議を申立て近々付議さる事になった、普通ならば村會議の決議尊重として村會の決意は連二無二可決異議申立は相立ざるは普通なれ共全村の村會には法制に通じ極めて公平なる江尻中氏のあり且佐原兩氏は全氏の最善の味方なれば或は申立通り決議するやも計り難く斯くては縣下に於ても新味の決議で各町村に影響する點多く成行き願ふ注目に居る。

病床餘録 (二)

江尻生 余に對して其子息の就職を頼む人が多きが中々其口を頼む人が多きが中々其希望を満たすことが出来ぬ

話耳日

去月十四日執行された本郡補欠縣議選舉結果左の如く、△草野三郎(民政)一三六七票、△赤坂龍次郎(政友)一三〇九票、△無効二五四票、其差△一四七票現在有権者三萬九千二百九十九名に對し投票二萬六千二百二十一票、權割合三割三分五厘、村によつては投票より棄権數が多かつたといふのであるから選舉熱のなかつた事は想像が出来る。

慶事

諸橋元三郎氏長女綾子さん八月四日出生 △關内正一氏四女蓉子さん八月十一日出生

満洲より

九月四日出生 満洲奉天江ノ島町二奉公館内 太田重吉 九月三日 久々御無音多謝度御送附の新報有拜讀致居候貴社時折暴言失言する人であらざる事を祈り、か益々御多幸奉賀上候扱て小生の如きを、新田目君な生今度福島縣特産物滿洲販賣の故に笑殺し置けり事は路開拓の爲め見本市開催の君のためならん事であらざるを願ひ、各實業組合、己れ心を以て他を員よりなる一行と共に去る疑ふ理で君の心情的の晴爽振りか何はれる。

吉田三郎

味噌醸造業 内郷村小島 藤市 平町二丁目

西村屋藥舗

平町三丁目(電話三番) 新製品 ヨツト安全剃刀 研器兼用 皮砥付 替刃三枚付 i.00

高久病院

平町南町 電話五二三番 院長 上田耕作 電話一二九番

吸入用酸素

純度 99% 平衡度 平衡計 体温器 寒暖計

關内藥局

平町南町 電話四〇番

釜屋商店

平町五丁目 電話九番・九九番